

協働テーマ

都有施設の温室効果ガス排出量等を見える化し、都庁自らの取組をより推進したい！

■ 現場課題

課題詳細

毎年度公表している温室効果ガス排出量等は、施設ごとの詳細なデータではなく全体の合計のみであるため、自分ごと化しにくい状況になっている。施設用途別のベンチマークの設定や、床面積別、築年別等で施設間の比較・分析ができるようにするなど、自身の施設の状況を把握できるようにする。

課題解決による
想定成果・効果

都有施設の温室効果ガス排出量等を見える化し、施設間での比較分析等を可能とすることにより、各局・各施設職員による温室効果ガス排出量等削減に向けた支援につなげ、2030年カーボンハーフの目標達成・2050年ゼロエミッション東京の実現に向けた取組を促進させる。

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

温室効果ガス排出量を可視化するツールを導入し、東京都仕様にカスタマイズを実施することで、温室効果ガス排出量を施設用途・築年数・管理部局・延床面積・施策の実施状況など多様な軸で様々なパターンの比較を行い視覚に訴えるように見える化する。

協働
プロジェクト
内容

- ① 過年度の燃料・電気・水などの各施設での使用量データをもとに、排出量算定・見える化に向けてのデータ構成・計算方法の確認及びデータレビューを実施
- ② 数百種を超える既存データを見える化ツールに取り込めるようデータクリーニングを実施
- ③ 視覚に訴えるデザインとなるよう、毎週のレビュー会議を通じて見える化ツールの分析インターフェースのカスタマイズを随時反映（アジャイル）開発で実施
- ④ ツールリリースにあわせて、利用者向けの操作説明会を実施

成果

- ① ツール活用の定着に向けたKPIとして「対象期間における配布対象者のログイン率100%」を掲げ、結果としては同100%達成。「まずはデータに触れる機会を創出する」という観点での成果を創出できた。
- ② 温室効果ガス排出量等削減に向けた取組の促進に向けたKPIとして「利用者アンケート4問において、ポジティブ回答割合60%以上」を掲げ、平均スコアとして3.13/5.0であり、全体では基準値3.0を上回り60%を超える結果となった。本プロジェクトを通じて環境施策推進に向けての前向きな成果が創出されたと評価でき、各局の利用者の評価も良好であった。



1. 総合管理ダッシュボード



2. 脱炭素化施策ダッシュボード



3. 施設比較ダッシュボード



実施後アンケート結果一例